

課題	評価点	評価の視点
業務の取組方針		
「世田谷区本庁舎等整備基本構想」を踏まえた設計業務実施方針を実現するための設計チームの体制ならびに設計業務フローを提案すること。 必須 - 設計チームの体制図 設計業務工程表とその考え方	20	様々な専門知識が求められる諸課題に的確に答えられる設計チームの体制になっているか。
		的確なコスト管理や進行管理が期待できるか。
		区民への情報提供や意見聴取の手法が工夫されているか。
		本プロジェクトの特性に応じた取組みが提案されているか。
テーマ1 各機能の関係性を考慮した分かりやすく、利用しやすい配置計画について		
行政機能、議会機能、区民機能（区民交流機能、区民会館機能）、広場機能それぞれの機能と関係性ならびに敷地の周辺環境に配慮した、全ての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい配置計画を提案すること。 必須 - 建物ごと及び階数毎の概略面積表	20	各機能に求められる規模を確保するとともに、各機能を明確に捉えて独立性と関係性のバランスが取れているか。
		広場機能が日常的な区民の憩い・交流と災害時の活動を両立する規模、配置と、敷地周辺の大学などの施設や住宅との関係が配慮されているか。
テーマ2 災害対策機能を備えた庁舎等計画について		
災害時に災害対策本部機能が十分に発揮できる安全、安心な庁舎等計画を提案すること。	20	平常時の利用のみならず、災害時に各諸室がどのように機能するか工夫されているか、災害対策本部のレイアウトや区画の配慮がなされているか。
		災害時の国土館大学との連携を意識して庁舎、区民会館や広場が配置されているか。
テーマ3 柔軟かつ効率的な執務空間の計画について		
将来の行政運営や社会情勢の変化を見据えた柔軟かつ効率的な執務空間の計画を提案すること。	20	来庁者にわかりやすく、職員も効率的な働くことができる動線、レイアウトになっているか。
		レイアウト変更への対応や可変的な利用など柔軟性の高い工夫が提案されているか。
テーマ4 高い環境性能を備えた庁舎等計画について		
イニシャルコスト及びランニングコストを抑制し、環境にやさしい庁舎等計画を提案すること。	20	自然エネルギーの活用や災害時における有用性も踏まえた設備の導入が対費用効果も踏まえて提案されているか。
		建物の施設緑化と広場・緑地の植栽が一体的に計画され、生物多様性にも配慮した緑化計画がなされているか。
テーマ5 現庁舎等の空間特質の継承について		
現庁舎等の空間特質を踏まえ、区民に親しまれる世田谷区本庁舎等にふさわしい空間イメージを提案すること。	20	世田谷区の本庁舎等としてアイデンティティのあるデザインか。
		現庁舎等の空間特質を的確に捉え、それを具現化する優れた空間構成、デザインか。
テーマ6 工期短縮、業務継続を踏まえた施工計画ならびに事業費を抑制する建築計画について		
工期短縮と工事期間中の災害対策本部機能の継続を踏まえた段階的な工事手順（ローリング計画）ならびに建設費を含む事業費を抑制する建築計画を提案すること。 必須 - 本提案における想定概算建設費 本提案において想定する概略工程表	20	イニシャルコスト（建設費）及びランニングコストの抑制を意識した具体的な提案となっているか。
		可能な限り2期5年程度とされている基本構想の工期と比較して適切な工事計画となっているか。災害対策本部機能が継続する工事手順（ローリング計画）となっているか。
総合評価		
ヒアリングの内容を踏まえ、取り組み意欲、基本構想の理解度のほか、説明能力、コミュニケーション能力を総合的に評価する。	20	ヒアリングの対応を踏まえ、人、組織が本整備推進に適切であるか。
		独創性、斬新性のある画期的な提案となっているか。
合計	160	